

鹿島市の教育に関する事務の管理及び 執行の状況の点検及び評価報告書

目的・趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定により教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たしていくために実施していくものである。

令和元年9月

鹿島市教育委員会

目次

10款. 教育費

(1項)教育総務費

- P1・・・幼稚園就園奨励事業
- P2・・・スクールカウンセラー事業・スクールソーシャルワーカー活用事業
- P3・・・鹿島市日韓子ども交流事業・外国青年招致事業・特別支援学校等通学対策事業
- P4・・・特別支援教育支援員事業・学校生活支援員事業・金管バンド指導支援員活用事業
- P5・・・フッ化物洗口むし歯予防事業・コミュニティ・スクール推進事業・補充学習等支援事業
- P6・・・未来にはばたく子供育成事業
- P7・・・ふれあい囲碁事業・学力向上対策事業・香取市の子どもたちとの交流事業
- P8・・・学力向上サポーター事業・児童自立支援事業・教育支援事業
- P9・・・児童生徒の活用力向上研究指定事業・原子力・エネルギー教育支援事業

(2項・3項)小学校費・中学校費

- P10・・・教材等備品整備事業・児童奨励対策事業・生徒奨励対策事業
- P11・・・就学援助事業・遠距離通学児童生徒対策事業
- P12・・・一人ひとりを伸ばす教育推進事業
- P13・・・小中学校施設整備事業
- P14・・・小学校校舎大規模改造空調設備工事(平成30年度分)・小中学校情報教育施設整備事業
- P15・・・西部中学校武道場吊り天井改修工事・鹿島小・西部中・東部中楽器及びピアノ整備事業

(4項)社会教育費

- P16・・・少年教育事業
- P17・・・青少年教育事業
- P18・・・社会教育事業
- P19・・・社会教育事業委託・補助
- P20・・・明治維新150年記念事業
- P21・・・「囲碁サミット2018in鹿島」事業
- P22・・・男女共同参画社会づくり事業・公民館指定管理事業
- P23・・・地区公民館管理事業・自治公民館建設等事業
- P24・・・生涯学習センター管理事業
- P25・・・市民図書館事業
- P26・・・社会同和教育事業
- P27・・・文化財保護対策事業

(5項)保健体育費

- P28・・・スポーツ推進事業
- P29・・・市立学校体育施設開放事業
- P30・・・スポーツ組織等の強化育成事業
- P31・・・体育施設管理事業
- P32・・・学校給食運営事業

10款. 教育費

※ 教育費については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項に規定する報告書を兼ねます。

平成30年度鹿島市学校教育方針に基づき、21世紀を主体的に生きることができる知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな子どもたちの育成という観点に立ち、確かな学力、個性を發揮し未来を切り拓く力、加えて地域力を活かして「生きる力」の育成、つながりと信頼関係の強化を重点目標とし、やる気を呼び起こすみんなですすめる学校教育を推進した。また、教職員の資質向上及び教育環境の整備・充実に努めた。

平成30年度鹿島市社会教育方針に基づき、市民が等しく学校教育や社会教育あるいはスポーツ・文化・ボランティア活動などを通じて、生涯にわたり学習できる社会の実現が重要となる中、多様化する現代社会を生きていくうえで必要な知識、楽しみや生きがいを見出すために、いつでも、どこでも、何でも学べる環境づくりに取り組むなど、生涯学習の基盤整備や各種施策の積極的な推進を図った。

10款. 教育費 (1項) 教育総務費

豊かな人間性や基礎・基本を身につけさせ、未来を切り拓く力の育成を図るために、児童生徒の実態を踏まえ、一人ひとりの能力を伸ばすための各種施策を展開した。

引き続き、未来にはばたく子供育成事業として、小・中学生等を対象に企業や工業高校等からのブース出展による「ものづくりの日」を開催し、通常の授業だけでは伝えることができない、科学の不思議さや面白さを感じてもらい、未来にはばたく子どもたちの育成を図った。また、平成30年度も、英語教室を開催し、外国語に親しむことができた。

国際理解教育の一環として、韓国の大西(テソ)初等学校との交流を実施するとともに学校、家庭、地域が連携して子どもたちを育むための各種事業を推進した。

特別支援教育支援員、学校生活支援員や金管バンド指導支援員をはじめとする各種支援員など、積極的な人的配置により、一人ひとりの教育的ニーズに応じた相談体制や学習・学校生活支援の充実を図った。

○教育総務費の主な事業

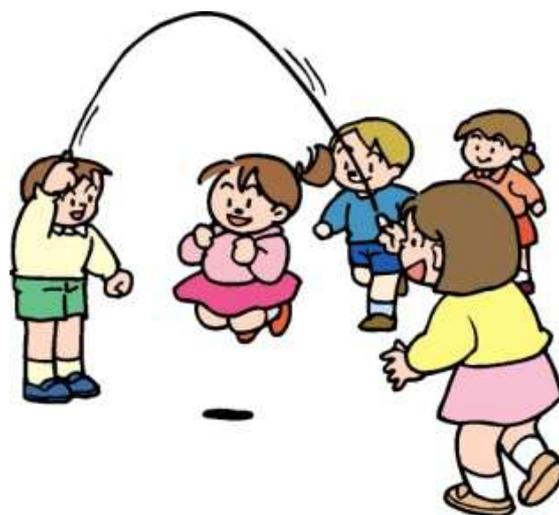
平成30年度 鹿島市決算(資料)

事業名	幼稚園就園奨励事業			所管課	教育委員会 教育総務課 学校教育係		
				費目	事務局費		
事業費 (千円)	461	財源	国 153	県	市債(借入金)	その他	一般財源 308
事業内容	区分	対象	事業費(千円)	事業概要			
	幼稚園就園奨励費補助	2人	461	幼児教育の重要性に鑑み、家庭の所得に応じて幼稚園児の保護者へ補助金を交付した。			
	○主要施策 幼稚園への就園奨励						
	○成果 保護者の経済的負担を軽減することにより、幼児教育の振興を図ることができた。						

○教育総務費の主な事業(続き)

平成30年度 鹿島市決算(資料)

事業名	スクールカウンセラー事業			所管課	教育委員会 教育総務課 学校教育係		
				費目	事務局費		
事業費 (千円)	1,614	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
				538			1,076
事業内容	<p>教育相談に関して専門的な知識・経験を有する者をカウンセラーとして配置し、学校におけるカウンセリング機能の充実を図った。 小学校7校兼務 2人配置</p> <p>○主要施策 各種支援員、相談員、外部講師等の活用</p> <p>○成 果 悩みや心配事のある子どもたちやその保護者、教職員に対して、助言や指導を与えることができた。</p>						
事業名	スクールソーシャルワーカー活用事業			所管課	教育委員会 教育総務課 学校教育係		
				費目	事務局費		
事業費 (千円)	333	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
							333
事業内容	<p>生徒の様々な悩みを聞き、助言を行い、学校教育・家庭教育の充実を図った。 教育相談員 小学校4校兼務 1人配置</p> <p>○主要施策 各種支援員、相談員、外部講師等の活用</p> <p>○成 果 子どもたちが気軽に相談ができ、学校と家庭との連携も図ることができた。</p>						



○教育総務費の主な事業(続き)

平成30年度 鹿島市決算(資料)

事業名	鹿島市日韓子ども交流事業			所管課	教育委員会 教育総務課 学校教育係						
				費目	事務局費						
事業費 (千円)	810	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源				
							810				
事業内容	<p>国際交流事業の一環として、児童の相互訪問を通じて国際理解教育の推進を図る。</p> <p>平成30年度は、韓国高興郡大西(テソ)初等学校より鹿島市を訪問。台風の影響で1日到着が遅れたため北鹿島小学校での歓迎交流会ができなかったが、歓迎する児童の様子を撮影したDVDを使って、自然の館で夜に鑑賞会を行った。ホームステイや買い物体験などを通して北鹿島小学校児童と交流しそれぞれの文化を学び合い友好を深めた。</p> <p>大西初等学校訪問団 4・5・6年生 16名 引率9名</p> <p>○主要施策 各学校の歴史、環境、特色を生かした「ふるさと教育」の推進、拡充</p> <p>○成果 日本と韓国、言葉の壁はあるものの、ホームステイ等を通じ、それぞれの国の風習を教え合うことで、似ている部分、異なっている部分を学ぶなど、充実した交流を行うことができた。</p>										
事業名	外国青年招致事業			所管課	教育委員会 教育総務課 学校教育係						
				費目	事務局費						
事業費 (千円)	9,430	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源				
						276	9,154				
事業内容	<p>中学校の英語教育の充実を図るとともに、小学校の英語活動への派遣、地域レベルでの国際交流の進展を図った。</p> <p>外国語指導助手 西部中学校・東部中学校各1人配置</p> <p>○主要施策 教職員の資質向上と指導力強化による学力向上</p> <p>○成果 小中学生時にネイティブスピーカーによる指導を受けることは、外国語をより身近なものとし、語学習得、国際理解への意欲を増進させることにつながった。</p>										
事業名	特別支援学校等通学対策事業			所管課	教育委員会 教育総務課 学校教育係						
				費目	事務局費						
事業費 (千円)	200	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源				
							200				
事業内容	<p>特別支援学校等に在籍する児童生徒が帰省する際の補助等を行い、特別支援教育等の円滑な運営を図った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">特別支援学校等児童生徒帰省旅費補助</td> <td>補助対象者なし</td> </tr> <tr> <td>児童生徒等送迎バス運行補助</td> <td>200,000円</td> </tr> </table> <p>○主要施策 学習意欲の向上、主体的に学習に取り組む姿勢と態度の醸成</p> <p>○成果 子どもたちの帰省等に伴う保護者の経済的負担を軽減することができた。</p>							特別支援学校等児童生徒帰省旅費補助	補助対象者なし	児童生徒等送迎バス運行補助	200,000円
特別支援学校等児童生徒帰省旅費補助	補助対象者なし										
児童生徒等送迎バス運行補助	200,000円										

○教育総務費の主な事業(続き)

平成30年度 鹿島市決算(資料)

事業名	特別支援教育支援員事業			所管課	教育委員会 教育総務課 学校教育係		
				費目	事務局費		
事業費 (千円)	14,488	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
						2,400	12,088
事業内容	<p>軽度発達障害など教育上特別の支援を必要とする児童生徒に対して、学習上又は生活上の困難を克服するための教育を行うため、市内全小中学校に12人の支援員を配置した。</p> <p>○主要施策 各種支援員、相談員、外部講師等の活用</p> <p>○成 果 市内全小中学校に1～2人ずつ配置し、きめ細かに個別対応することができ、学習効果を高めることができた。</p>						
事業名	学校生活支援員事業			所管課	教育委員会 教育総務課 学校教育係		
				費目	事務局費		
事業費 (千円)	7,292	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
							7,292
事業内容	<p>いじめ・不登校などの問題を抱えた児童・生徒への対応や、学校における子供たちの生活を教員と共同で支援が必要など、学校ごとに異なる様々な事情に対処するため、市内小中学校に9人を配置した。</p> <p>○主要施策 各種支援員、相談員、外部講師等の活用</p> <p>○成 果 問題を抱えた児童・生徒に対し、家庭・学校・地域環境への働きかけや児童の心に寄り添いながらの支援は、多くの子供たちにとって大きな支えになった。また、職員全体で情報共有する機会が増え、よりよい支援ができる体制作りができた。</p>						
事業名	金管バンド指導支援員活用事業			所管課	教育委員会 教育総務課 学校教育係		
				費目	事務局費		
事業費 (千円)	356	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
							356
事業内容	<p>専門的な指導が必要な吹奏楽に、指導支援員を配置することで、適切な指導と教員の負担軽減を図るため、鹿島小学校に1人を配置した。</p> <p>○主要施策 各種支援員、相談員、外部講師等の活用</p> <p>○成 果 専門的な指導を行うことで、児童がより高度な技術を身につけることができ、また従来指導に当たっている教員の負担軽減を図ることができた。</p>						

○教育総務費の主な事業(続き)

平成30年度 鹿島市決算(資料)

事業名	フッ化物洗口むし歯予防事業			所管課	教育委員会 教育総務課 学校教育係		
				費目	事務局費		
事業費 (千円)	639	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
							639
事業内容	<p>小・中学校において、むし歯予防に高い成果をあげているフッ化物洗口を行うことにより、全国及び佐賀県の平均に比べても高いむし歯罹患率の減少を目指し、実施した。</p> <p>平成30年度 フッ化物洗口実施児童生徒数 2,317人 ※実施した児童の割合 97.0%</p> <p>○主要施策 健全な食生活を高める食育および地産池消の推進</p> <p>○成果 むし歯罹患率は平成29年度と比較すると減少した。</p>						
事業名	コミュニティ・スクール推進事業			所管課	教育委員会 教育総務課 学校教育係		
				費目	事務局費		
事業費 (千円)	257	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
							257
事業内容	<p>コミュニティ・スクールとは、学校の大きな方針を決める「学校運営協議会」に地域住民や保護者が参加し、地域の意見や知恵を反映した、地域としっかりしたつながりのある開かれた学校である。</p> <p>明倫小学校(平成24年度設置)と鹿島小学校(平成29年度設置)で学校運営協議会を開催し、学校運営や教育活動について協議した。</p> <p>○主要施策 開かれた学校づくりの推進と学校評議員、学校運営協議会の活用</p> <p>○成果 地域人材活用の活動をすることで教育活動がより充実した組織作りになった。また、地域と学校の双方向性の交流ができた。</p>						
事業名	補充学習等支援事業			所管課	教育委員会 教育総務課 学校教育係		
				費目	事務局費		
事業費 (千円)	560	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
			112	174		274	
事業内容	<p>中学校において、学習内容の定着が十分に図れていない生徒のため、地域の人材(退職教職員等の社会人や保護者、教員志望の大学生等)を活用し、放課後や長期休業中に補充学習を行った。</p> <p>1回あたり、授業日は放課後の1～2時間、長期休業中は1～3時間を確保し、学習支援を行った。登録指導員数：14人</p> <p>○主要施策 学習意欲の向上、主体的に学習に取り組む姿勢と態度の醸成</p> <p>○成果 地域の教育力を活用することで、学習への意欲づけと自主的な学習習慣を確立し、生徒の基礎的な学力定着を図ることができた。補充学習で理解が深まったことで、授業への取り組みにも意欲が見られるようになった。</p>						

事業名	未来にはばたく子供育成事業			所管課	教育委員会 教育総務課 学校教育係		
				費目	事務局費		
事業費 (千円)	371	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
				64		307	
事業内容	<p>(1)「ものづくりの日」の開催</p> <p>市内小・中学校の児童生徒および市内・市外在住の方々を対象に、鹿島市民会館で開催。東亜工機(株)様、木彫工房「杉彫」様、佐賀 LIXIL 製作所様等の企業、また、塩田工業、佐世保高専、西部中学校、東部中学校からブース出展をしていただき、さまざまな体験をすることができた。参加者は310人。</p>						
							
	○紙コップロボット作り			○ハーバリウム作り			
							
	○木のロボット作り			○理科教室			
	<p>(2)「英語教室」の開催</p> <p>クイズ・ゲーム等を交え英語に親しみ、また、外国語指導助手作成レシピによりお菓子作りを楽しんだ。ハウステンボスでは街頭英会話に挑戦した。参加者は小学生延べ94名。</p>						
							
	○ショップ体験			○街頭英会話			
	<p>○主要施策</p> <p>学習意欲の向上、主体的に学習に取り組む姿勢と態度の醸成</p>						
	<p>○成果</p> <p>通常の授業だけでは伝えることができない、不思議さや面白さを感じてもらうことができた。また、理科や外国語への興味・関心を高めることができた。</p>						

○教育総務費の主な事業(続き)

平成30年度 鹿島市決算(資料)

事業名	ふれあい囲碁事業			所管課	教育委員会 教育総務課 学校教育係		
				費目	事務局費		
事業費 (千円)	45	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
						45	
事業内容	<p>次代を担う子どもたちへの囲碁文化を継承するとともに、囲碁を打ち、お互いふれあうことにより、相手の気持ちを理解し合う心を醸成することを目的に実施した。</p> <p>小学校3年生 251人</p> <p>○主要施策 各学校の歴史、環境、特色を生かした「ふるさと教育」の推進、拡充</p> <p>○成果 個々人がそれぞれ相手を探して囲碁をする姿が見られ、囲碁を通して、お互いふれあう楽しさを味わうことができた。</p>						
					○囲碁教室		
事業名	(一般管理事業) 学力向上対策事業			所管課	教育委員会 教育総務課 学校教育係		
				費目	事務局費		
事業費 (千円)	1,700	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
							1,700
事業内容	<p>学習意欲の向上を図り、学習の基礎の確実な定着、個性と能力に応じた自己教育力の育成を図った。</p> <p>○主要施策 教職員の資質向上と指導力強化による学力向上</p> <p>○成果 学力検査等に関する市内の実態報告や各学校の取り組み状況について協議や意見交換を行い、全職員が同じスタンスで取り組むことができた。</p>						
事業名	香取市の子どもたちとの交流事業			所管課	教育委員会 教育総務課 学校教育係		
				費目	事務局費		
事業費 (千円)	80	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
							80
事業内容	<p>千葉県香取市の小学校4・5年生の代表児童8人(引率3人)が鹿島市を訪れた。子どもたちは「ガタリンピック」に出場し、干潟を満喫した。また、酒蔵通り散策では、浜小学校の子どもたちが「まちなみガイド」を担当し、鹿島の魅力を伝えるとともに児童同士で交流ができた。</p> <p>○主要施策 各学校の歴史、環境、特色を生かした「ふるさと教育」の推進、拡充</p> <p>○成果 ふるさと鹿島に対する愛着と誇りの涵養を図るとともに香取市との将来にわたる友好関係を構築することができた。</p>						
				○表敬訪問式			

○教育総務費の主な事業(続き)

平成30年度 鹿島市決算(資料)

事業名	学力向上サポーター活用事業			所管課	教育委員会 教育総務課 学校教育係														
				費目	事務局費														
事業費 (千円)	2,168	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源												
						1,000	1,168												
事業内容	<p>小学校において学習内容の定着が十分に図れていない児童のために、外部指導者(退職教職員等の社会人や地域の方、教員志望の大学生等)による補充学習を放課後や長期休業中に行うことにより、基礎学力の定着、学習への意欲づけと学習習慣の確立を図った。</p> <p>放課後 指導員数23人、605時間 長期休業中 指導員数27人、479時間</p> <p>○主要施策 学習意欲の向上、主体的に学習に取り組む姿勢と態度の醸成</p> <p>○成果 個々の状況を把握しながら、丁寧な指導を行うことにより、基礎、基本の学力の習得が進んだ。 また、学習への意欲づけと学習習慣の確立が図られた。</p>																		
事業名	児童生徒自立支援事業			所管課	教育委員会 教育総務課 学校教育係														
				費目	事務局費														
事業費 (千円)	3,933	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源												
				642			3,291												
事業内容	<p>適応指導教室「さくら」及び学校適応指導教室(西部中学校内)において、心理的、情緒的理由により登校できない常態にある児童生徒に対して個別あるいは小集団での個別指導を行い、自立を促しながら集団生活に適応する力をはぐくみ、学校・学級への早期復帰を目指して支援を行った。</p> <p>適応指導教室「さくら」 指導員 1人 補助指導員 1人 学校適応指導教室 支援員 1人</p> <p>○主要施策 学習意欲の向上、主体的に学習に取り組む姿勢と態度の醸成</p> <p>○成果 個別指導により、児童生徒の心が安定し、表情が豊かになるなど成果が見られた。</p>																		
事業名	教育支援事業			所管課	教育委員会 教育総務課 学校教育係														
				費目	事務局費														
事業費 (千円)	539	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源												
							539												
事業内容	<p>早期からの教育相談を実施し、就学支援について情報提供・助言を行うとともに、「ことば」や、対人関係など困難な状況にある児童生徒に対して、通級による個々の発達の状態や特性に応じた指導を行った。</p> <p>教育支援委員会委員 20人 就学相談会相談員 6人</p> <p>※通級指導教室の設置状況</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>鹿島小学校 (言語)</td> <td>26人</td> </tr> <tr> <td>〃 (LD/ADHD等)</td> <td>18人</td> </tr> <tr> <td>古枝小学校 (LD/ADHD等)</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>浜小学校 (LD/ADHD等)</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>明倫学校 (LD/ADHD等)</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>西部中学校 (LD/ADHD等)</td> <td>16人</td> </tr> </table> <p>○主要施策 教育支援委員会、相談会の活性化</p> <p>○成果 個に応じた学習やきめ細やかな指導を行い、学習上、生活上の困難を改善することが出来た。</p>							鹿島小学校 (言語)	26人	〃 (LD/ADHD等)	18人	古枝小学校 (LD/ADHD等)	16人	浜小学校 (LD/ADHD等)	16人	明倫学校 (LD/ADHD等)	20人	西部中学校 (LD/ADHD等)	16人
鹿島小学校 (言語)	26人																		
〃 (LD/ADHD等)	18人																		
古枝小学校 (LD/ADHD等)	16人																		
浜小学校 (LD/ADHD等)	16人																		
明倫学校 (LD/ADHD等)	20人																		
西部中学校 (LD/ADHD等)	16人																		

○教育総務費の主な事業(続き)

平成30年度 鹿島市決算(資料)

事業名	児童生徒の活用力向上研究指定事業			所管課	教育委員会 教育総務課 学校教育係		
				費目	事務局費		
事業費 (千円)	750	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
				750			
事業内容	<p>国語、算数、数学を中心に、各教科における活用力を高めるための授業改善等に向けた研究を行い、教職員の指導力向上と児童生徒の学力の向上を目指すことを目的とする。</p> <p>○主要施策 教職員の資質向上と指導力強化による学力の向上</p> <p>○成果 知識、技能等を実生活の様々な場面に活用する力を高めるため、授業の中で様々な手立てや指導形態の工夫をするなど授業改善をすることができた。</p>						
事業名	原子力・エネルギー教育支援事業			所管課	教育委員会 教育総務課 学校教育係		
				費目	事務局費		
事業費 (千円)	67	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
				67			
事業内容	<p>原子力を含めたエネルギーや放射線に関する授業を支援する事業。</p> <p>○主要施策 学習意欲の向上と主体的に取り組む姿勢と態度の醸成</p> <p>○成果 実際に実験を行ったことで、放射線や原子力を含むエネルギーに関する興味・関心が高まり、理解を深めることができた。</p>						



10款. 教育費 (2項・3項) 小学校費・中学校費

次世代を担うたくましい児童生徒の育成のために、その基盤となる学力の向上及び心の教育の充実に向けての施策を展開した。

福祉・環境・情報教育を推進し、現代社会に対応できる人材育成のための各種施策や総合的な学習の時間などを利用して自ら学び考える力を伸ばし「生きる力」を育成する施策を推進した。

ふるさと人材育成支援基金を活用した郷土の人材を育成するための施策や各種営繕を含めた学校施設の整備、電子黒板の整備によるICT(情報通信技術)教育の推進など、安全で快適な教育環境づくりのための各種施策を展開した。

○小学校費・中学校費の主な事業

平成30年度 鹿島市決算(資料)

事業名	(小学校一般管理事業・中学校一般管理事業)			所管課	教育委員会 教育総務課 施設整備係		
	教材等備品整備事業			費目	学校管理費		
事業費 (千円)	12,093	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
						300	11,793
事業内容	教育環境の整備充実のため、小・中学校の各種備品の整備を行った。						
	○備品整備状況(楽器等整備は別掲)				(単位:円)		
	区分		小学校	中学校	計		
	1	教材備品	2,884,044	1,713,791	4,597,835		
	2	一般備品	3,131,947	1,014,508	4,146,455		
	3	図書備品	2,215,490	1,134,119	3,349,609		
計		8,231,481	3,862,418	12,093,899			
○主要施策 学校の教育備品の拡充と適正な配備							
○成果 学校事務の共同実施による備品の共同購入により、効率的な予算の執行を行った。 基金(光武文庫)を活用し、小学校図書の充実を図った。							
事業名	児童奨励対策事業・生徒奨励対策事業			所管課	教育委員会 教育総務課 学校教育係		
				費目	教育振興費		
事業費 (千円)	843	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
						843	
事業内容	小・中学校の児童や生徒及び教職員が、学校教育振興に関する諸活動(学術、研究、体育、スポーツ活動等を含む)のため、九州大会に市の代表として出場する場合の参加経費について、補助金を交付した。						
	中学校 843,200 円(九州大会: 運動競技 4 吹奏楽 1)						
	○主要施策 学習意欲の向上、主体的に学習に取り組む姿勢と態度の醸成						
○成果 九州・全国大会への参加経費を補助することにより、小・中学校の児童生徒の学校教育振興に関する諸活動の振興に寄与することができた。							

○小学校費・中学校費の主な事業(続き)

平成30年度 鹿島市決算(資料)

事業名	(教育振興費) 就学援助事業			所管課	教育委員会 教育総務課 学校教育係														
				費目	教育振興費														
事業費 (千円)	13,562	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源												
			869					12,693											
事業内容	<p>経済的理由により、就学困難な児童生徒の保護者に対し、学用品費等の支給(要保護・準要保護就学援助費)を行った。</p> <table border="1"> <tr> <td>小学校</td> <td>104人(うち要保護1人)</td> <td>7,193,283円</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>42人(うち要保護0人)</td> <td>4,641,247円</td> </tr> </table> <p>特別支援学級に通学する児童生徒の保護者に対し、学用品費等の支給(特別支援教育就学奨励費)を行った。</p> <table border="1"> <tr> <td>小学校</td> <td>37人</td> <td>1,183,394円</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>13人</td> <td>544,318円</td> </tr> </table> <p>○主要施策 学習意欲の向上、主体的に学習に取り組む姿勢と態度の醸成</p> <p>○成果 保護者の経済的な負担を軽減することにより、義務教育の円滑な運営を図ることができた。</p>							小学校	104人(うち要保護1人)	7,193,283円	中学校	42人(うち要保護0人)	4,641,247円	小学校	37人	1,183,394円	中学校	13人	544,318円
小学校	104人(うち要保護1人)	7,193,283円																	
中学校	42人(うち要保護0人)	4,641,247円																	
小学校	37人	1,183,394円																	
中学校	13人	544,318円																	
事業名	(教育振興費) 遠距離通学児童生徒対策事業			所管課	教育委員会 教育総務課 学校教育係														
				費目	教育振興費														
事業費 (千円)	1,808	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源												
								1,808											
事業内容	<p>遠距離通学をする児童生徒の保護者に対して、通学方法に応じた補助金(遠距離通学費)を交付した。</p> <table border="1"> <tr> <td>小学校</td> <td>62人</td> <td>500,077円</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>46人</td> <td>1,241,695円</td> </tr> </table> <p>能古見小学校浅浦分校廃校に伴い、元浅浦分校区から通学をする小学1・2年生の児童の保護者に対して、距離に応じた補助金(特例通学費)を交付した。</p> <table border="1"> <tr> <td>小学校</td> <td>6人</td> <td>66,000円</td> </tr> </table> <p>○主要施策 学習意欲の向上、主体的に学習に取り組む姿勢と態度の醸成</p> <p>○成果 保護者の経済的負担を軽減し、義務教育の円滑な運営を図ることができた。</p>							小学校	62人	500,077円	中学校	46人	1,241,695円	小学校	6人	66,000円			
小学校	62人	500,077円																	
中学校	46人	1,241,695円																	
小学校	6人	66,000円																	

事業名	(教育振興費)			所管課	教育委員会 教育総務課 学校教育係		
	一人ひとりを伸ばす教育推進事業			費目	教育振興費		
事業費 (千円)	5,536	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
						2,620	2,916
事業内容	<p>米づくり、校内の環境整備、文化的事業やその他の体験活動を行うことにより、豊かな情操と教養の習得を図った。</p> <p>鹿島市福祉教育に関する条例に基づき、感性豊かな小中学生の時期に地域においてボランティア活動を行い、地域に貢献する温かい人間性豊かな人への成長を図った。</p> <p>鹿島市ふるさと人材育成支援基金条例に基づき、小中学生を対象として、活力ある地域づくりのためにふるさとの多様な自然・歴史・伝統文化・産業等を活かした人材育成事業を行った。</p> <p>・小学校 4,116,000円 ・中学校 1,420,000円</p> <p>○主要施策 学習意欲の向上、主体的に学習に取り組む姿勢と態度の醸成</p> <p>○成果 様々な体験活動によって、思いやりの心や感動する心を育むことができた。苗を植え、収穫する体験を通して、生産の喜びを体験できた。</p> <p>地域の産業、職人の技術、自然や文化、歴史に触れ、郷土への愛着、ものづくりへの興味・関心を高めることができた。</p> <p>取組を通して、いろいろな人の立場を思いやって物事を考えることができるようになり、また普段接することの少ない地域の人達とのコミュニケーションを図ることができた。</p>						
							
	○米作り		○銅版レリーフ作り				
							
	○干潟体験		○花いっぱい運動				

○小学校費・中学校費の主な事業(続き)

平成30年度 鹿島市決算(資料)

事業名	小中学校施設整備事業			所管課	教育委員会 教育総務課 施設整備係		
				費目	学校管理費		
事業費 (千円)	20,778	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
						13,000	7,778

各小中学校からの工事要望箇所を立会して確認し、危険性の高い箇所や老朽化が著しい施設の修繕や工事を行い教育環境の改善に努めた。

○事業内訳

(単位:円)

学校名	事業費	事業概要
1 鹿島小学校	11,650,327	プールろ過機改修工事 他
2 能古見小学校	800,004	パソコン室空調機修繕 他
3 古枝小学校	1,014,120	プール排水バルブ取替工事 他
4 浜小学校	551,448	浄化槽原水ポンプ修繕 他
5 北鹿島小学校	1,287,900	昇降口建具改修工事 他
6 七浦小学校・音成分校	2,589,840	校舎北側階段室外壁防水改修工事 他
7 明倫小学校	412,020	プール飛込台撤去工事 他
8 西部中学校	2,069,853	駐輪場コンクリートブロック擁壁撤去工事 他
9 東部中学校	401,760	理科室及び美術室照明器具取替工事 他

事業内容

○主要施策

学校施設の計画的な営繕の実施

○成果

修繕・工事を計画的に行い、児童生徒達が過ごしやすい教育環境を整えることができた。



○西部中学校駐輪場コンクリートブロック擁壁撤去工事

施工前

施工後

○小学校費・中学校費の主な事業(続き)

平成30年度 鹿島市決算(資料)

事業名	小中学校校舎大規模改造 空調設備工事(平成30年度分)			所管課	教育委員会 教育総務課 施設整備係									
				費目	学校管理費									
事業費 (千円)	14,454	財源	国	市債(借入金)	その他	一般財源								
				13,900	400	154								
事業内容	<p>○工事概要</p> <p>市内小中学校空調設備工事 平成30年度…実施設計業務委託 実施設計 平成30年9月10日～平成31年2月15日 令和元年度…空調機械・電気・工事監理 工期 平成31年3月15日～令和元年7月10日</p> <p>○事業費内訳 (単位:円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成30年度分 実施設計業務</td> <td>14,453,640</td> </tr> <tr> <td>令和元年度分 工事及び監理(繰越)</td> <td>259,687,000</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>274,140,640</td> </tr> </tbody> </table> <p>○主要施策</p> <p>学校施設の計画的な大規模改造事業等の実施</p> <p>○成果</p> <p>施設の改修工事を行い、教育環境の改善を行う。</p>			項目	事業費	平成30年度分 実施設計業務	14,453,640	令和元年度分 工事及び監理(繰越)	259,687,000	計	274,140,640	 <p>○設置が進む空調室内機</p>  <p>○設置工事中の空調室外機</p>		
	項目	事業費												
平成30年度分 実施設計業務	14,453,640													
令和元年度分 工事及び監理(繰越)	259,687,000													
計	274,140,640													
事業名	小中学校情報教育施設整備事業			所管課	教育委員会 教育総務課 施設整備係									
				費目	学校管理費									
事業費 (千円)	3,230	財源	国	市債(借入金)	その他	一般財源								
					2,000	1,230								
事業内容	<p>○工事概要</p> <p>ICT(情報通信技術)教育の推進のため、電子黒板の整備を行った。</p> <p>○事業費内訳 (単位:円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校購入費 2台</td> <td>2,166,480</td> </tr> <tr> <td>中学校購入費 1台</td> <td>1,062,720</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,229,200</td> </tr> </tbody> </table> <p>○主要施策</p> <p>学校施設の耐震化や防犯設備を考慮した設備改修、情報設備や学校図書館の充実、快適な教育環境づくり</p> <p>○成果</p> <p>電子黒板を整備することにより、ICT教育の環境を整えることができた</p>			項目	事業費	小学校購入費 2台	2,166,480	中学校購入費 1台	1,062,720	計	3,229,200	 <p>○明倫小学校電子黒板</p>  <p>○古枝小学校電子黒板</p>		
	項目	事業費												
小学校購入費 2台	2,166,480													
中学校購入費 1台	1,062,720													
計	3,229,200													

○小学校費・中学校費の主な事業(続き)

平成30年度 鹿島市決算(資料)

事業名	西部中学校武道場吊り天井改修工事業			所管課	教育委員会 教育総務課 施設整備係													
				費目	学校管理費													
事業費 (千円)	21,146	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源											
			6,304		11,200	3,000	642											
事業内容	<p>○工事概要</p> <p>工期 平成30年7月30日～平成30年9月28日 災害時における生徒等の応急避難場所としての機能が発揮できるように、非構造部材(吊り天井)の撤去や照明器具等の耐震化に取り組む事業。</p> <p>○事業費内訳 (単位:円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>吊り天井改修工事</td> <td>20,088,000</td> </tr> <tr> <td>工事監理業務委託</td> <td>1,057,320</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>21,145,320</td> </tr> </tbody> </table> <p>○主要施策</p> <p>学校施設の耐震化をはかり快適な教育環境づくり</p> <p>○成果</p> <p>施設の非構造部材の耐震化を行った。</p>			項目	事業費	吊り天井改修工事	20,088,000	工事監理業務委託	1,057,320	計	21,145,320	 <p>○(改修後) 武道場天井</p>						
	項目	事業費																
吊り天井改修工事	20,088,000																	
工事監理業務委託	1,057,320																	
計	21,145,320																	
事業名	鹿島小・西部中・東部中学校 楽器等及び小中学校ピアノ整備事業			所管課	教育委員会 教育総務課 施設整備係													
				費目	学校管理費													
事業費 (千円)	9,969	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源											
						9,969												
事業内容	<p>○事業概要</p> <p>指定寄附を活用し古くなった楽器の買い換え等を行った。 ティンパニー1台、ユーフォニアム2台、クラリネット1本 ホルン1本、トロンボーン2本、スネアドラム1台、 エスクラリネット1本、サクソフォン1本、ピッコロ1本 太鼓1台、トランペット1本、スレイベル1台 グランドピアノ5台</p> <p>○事業費内訳 (単位:円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鹿島小学校楽器購入費</td> <td>358,506</td> </tr> <tr> <td>小学校ピアノ購入費</td> <td>4,294,944</td> </tr> <tr> <td>中学校楽器購入費</td> <td>2,451,708</td> </tr> <tr> <td>中学校ピアノ購入費</td> <td>2,863,296</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>9,968,454</td> </tr> </tbody> </table> <p>○主要施策</p> <p>学校の教育備品の拡充と適正な配備</p> <p>○成果</p> <p>備品整備を行い、教育環境の充実を図ることができた。</p>			項目	事業費	鹿島小学校楽器購入費	358,506	小学校ピアノ購入費	4,294,944	中学校楽器購入費	2,451,708	中学校ピアノ購入費	2,863,296	計	9,968,454	 <p>○鹿島小 ティンパニ、トランペット、和太鼓</p>  <p>○古枝小学校 グランドピアノ</p>		
	項目	事業費																
鹿島小学校楽器購入費	358,506																	
小学校ピアノ購入費	4,294,944																	
中学校楽器購入費	2,451,708																	
中学校ピアノ購入費	2,863,296																	
計	9,968,454																	

10款. 教育費 (4項) 社会教育費

市民の誰もが、いつでも・どこでも・楽しく学べ、主体的に活動できるような生涯学習のまちづくりのため、鹿島市生涯学習センター「エイブル」をはじめ、市民交流プラザ「かたらい」や各地区公民館等を拠点に、広く市民への学習機会の提供と環境づくりに努めた。また、体験に特化した「わくわく体験隊」を実施し、さまざまな体験を通して次代を担う青少年の健全な心身の育成を図るとともに、集団生活による自立性や社会性を育むため、青少年体験活動事業(鹿島ドリームシップ)を実施した。

市民図書館事業では、平成30年度から学芸部を新設し、古文書の管理とその利用促進を図るとともに、館内外での展示や講演活動を行った。

一方、明治維新150年記念事業として鍋島直彬調査研究、田澤義鋪顕彰を行った。また、囲碁によるまちづくりを推進する自治体が集った「囲碁サミット2018in鹿島」を開催し、日本棋院第44期天元戦第3局も同時期に開催され、囲碁文化の普及・啓発につながった。

社会同和教育事業においては、人権・同和問題の理解と認識を深めてもらうため、市民への啓発活動や各種学習会を行った。

○社会教育費の主な事業

平成30年度 鹿島市決算(資料)

事業名	少年教育事業			所管課	教育委員会 生涯学習課 社会教育・文化係		
				費目	社会教育総務費		
事業費 (千円)	835	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
				450			385
事業内容	○わくわく体験隊						140千円
	主に小学生を対象とし、体験を重視した事業を実施し、青少年の健全育成を図った。延べ113人が参加し、遺跡探検、お仕事体験、ものづくり体験などを実施した。(4回実施)						
	○ヒカルの碁鹿島スクール						265千円
	6月～3月の第1・3土曜日を中心に計21回開催、日本棋院鹿島支部・ボランティア講師の指導により、小学生28人延べ360人が囲碁を楽しみ、併せて礼儀作法も学んだ。						
							
	○わくわく体験隊：お仕事体験						
○ヒカルの碁鹿島スクール							
○エイブル・地区体育館開放事業							355千円
エイブルの開館日、体育館は5月～翌年3月までの平日午後3時～5時までを子どもの居場所づくりとして無料開放し、子ども達へ安全な遊び場を提供した。							
・エイブル 4,646人利用 ・北鹿島体育館228人利用 ・臥竜ヶ岡体育館 685人利用							
○鹿島市放課後子どもプラン運営委員会							75千円
市内青少年関係団体による会議を開催。放課後の子どもの安全で安心な活動場所を確保し、放課後対策についての意見交換を行った。							

事業内容	<p>○主要施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世代間や他地区との交流会の実施 ・青少年育成団体や諸活動団体との連携および育成支援 <p>○成果</p> <p>小学生等を対象に、社会体験活動等により青少年の健全育成を図ることができた。</p>						
	事業名	青少年教育事業			所管課	教育委員会 生涯学習課 社会教育・文化係	
事業費 (千円)	2,050	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
							2,050
事業内容	<p>○少年体験活動事業(ドリームシップ) 事業補助金 1,500千円</p> <p>8/23(木)~26(日)にかけて小学生21人、スタッフ9人が参加。沖縄にて平和研修や海洋体験学習、沖縄の自然探検を行った。</p> <p>○市子ども会連絡協議会体育・文化事業補助金 300千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インリーダー研修会 6/16(土)~17(日) 諫早青少年自然の家(参加者95人、スタッフ36人) ・球技大会 7/29(日) (猛暑のため中止) ・夏休み作品展 9/22(土)~10/4(木) 497点(習字363点、図画80点、工作54点) 						
							
	○ドリームシップ事業(沖縄宇宙通信所)			○インリーダー研修会(諫早青少年自然の家)			
<p>○青少年育成市民会議補助金 250千円</p> <p>地域社会の担い手となる青少年の指導育成や、非行防止のため青少年育成団体、関係機関及び青少年育成指導者等の協力により下記事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第20回少年の夢発表会については、多くの方々へ参観していただくため、今年度から市PTA連合会活動研究大会と合同で2/3(日)に開催した。(少年の夢発表小学生7人・中学生4人) 俳句(応募3,866点) ・地域環境点検活動 11/29(木) (市内ディスカウントストアなど 13ヶ所) 							
							
○少年の夢発表(作文)			○少年の夢発表(俳句)				

<p>事業内容</p>	<p>○主要施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年育成団体や諸活動団体との連携及び育成支援 ・青少年自然体験活動・派遣交流などの推進 ・家庭や地域の教育力を高める学習の場の提供 <p>○成果</p> <p>少年体験活動事業(ドリームシップ)においては、子どもたちが沖縄の文化や歴史に触れ、海洋体験や学習をすることによって、幅広い視点から青少年の育成に資することができた。</p> <p>市子ども会の活動や地域行事への参加により子どもの自主性と豊かな創造性を育み、地域コミュニティの充実が図られた。</p> <p>また、少年の夢発表会においては、市の将来を担う子ども達が、日常生活の中で日頃考え、思っていることを、広く市民に発表することにより、市民の子供たちの健全育成に対する理解を深めることができた。</p>						
<p>事業名</p>	<p>社会教育事業</p>			<p>所管課</p>	<p>教育委員会 生涯学習課 社会教育・文化係</p>		
<p>事業費 (千円)</p>	<p>751</p>	<p>財源</p>	<p>国</p>	<p>費目 県</p>	<p>市債(借入金)</p>	<p>その他</p>	<p>一般財源 751</p>
<p>事業内容</p>	<p>○「第65回成人式」開催 431千円 1/13(日)新成人378人該当、305人参加</p> <p>○「第27回盛年の集い」開催 300千円 12/9(日)開催。65歳該当者が自ら企画・運営し、210人が参加した。</p> <div style="text-align: center;">  <p>○成人式</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>○盛年の集い</p> </div>						

事業内容	<p>○まちづくり出前講座 20千円</p> <p>平成29年度から高齢者教室とまちづくり出前講座を統合し、受講者の利便性を向上させた。誰もが学べる環境を提供するため、各種団体やサークルへの出前講座を実施した。46のメニューから「ふるさとの歴史と文化財」、「高齢者の健康・元気づくり」など94講座を開催し、2,323人が受講された。県内各種団体から外部講師による支援を受け、「国際理解教育」なども学習した。</p>						
	 <p>○まちづくり出前講座(健康・元気づくり)</p>			 <p>○まちづくり出前講座(国際交流)</p>			
事業内容	<p>○家庭教育支援事業</p> <p>市内小学1年生から4年生の親子15組36人を対象にした「かんたん楽チンランチ&よみきかせ」を開催した。</p>						
	 <p>○調理実習</p>						
<p>○主要施策</p> <p>家庭や地域の教育力を高める学習の場の提供</p>							
<p>○成果</p> <p>核家族化が進んでいる状況であるが、親子のコミュニケーションや絆を深めた。</p>							
事業名	社会教育事業補助			所管課	教育委員会 生涯学習課 社会教育・文化係		
事業費(千円)	2,400	財源	国	費目	社会教育総務費	市債(借入金)	その他 一般財源
				県			2,400
事業内容	<p>○芸術文化振興事業補助金(鹿島市文化連盟) 600千円</p> <p>○田澤記念館運営事業補助金 1,000千円</p> <p>○日本棋院第44期天元戦負担金 800千円</p>						
	<p>○主要施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化団体、地域文化継承団体の育成支援、文化活動ネットワークづくり ・芸術文化の学習機会や鑑賞の機会の拡充 ・青少年育成団体や諸活動団体との連携および育成支援 <p>○成果</p> <p>市民の芸術・文化に対する意識の向上、青少年教育活動の支援が図られた。</p>						

○社会教育費の主な事業(続き)

平成30年度 鹿島市決算(資料)

事業名	明治維新150年記念事業			所管課	教育委員会 生涯学習課 社会教育・文化係		
				費目	生涯学習推進費		
事業費 (千円)	5,238	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
				3,491			1,747

○鍋島直彬調査研究 3,068千円
 明治維新期の鹿島鍋島藩と藩主鍋島直彬の蔵書を中心に、明治から現在の図書館の成り立ちについて研究し報告書等にまとめた。鍋島直彬に造詣が深いロバートキャンベル氏の講演会を開催した。

- ・「鍋島直彬と鹿島の蔵書文化」「史料が語る初代沖縄県令鍋島直彬」調査報告書作成
- ・「ロバートキャンベル氏講演会「鍋島直彬と鹿島の蔵書文化」12月1日(日)エイブルホール

○田澤義鋪顕彰事業 2,170千円
 「青年団の父」と呼ばれる郷土の偉人の「田澤義鋪」の偉業や精神を顕彰し、今の日本が忘れてきている公正・公平・正義の実現に努める心や郷土を愛する心を醸成するため、田澤義鋪顕彰大会の実施及びパネル展、記念冊子の印刷及び田澤義鋪に関する調査報告書の作成等を実施した。

- ・調査報告書「日記が語る田澤義鋪の実像」作成(300部)・記念冊子(2,000部)・展示パネル(18枚)作成

事業内容



○ロバートキャンベル氏講演会



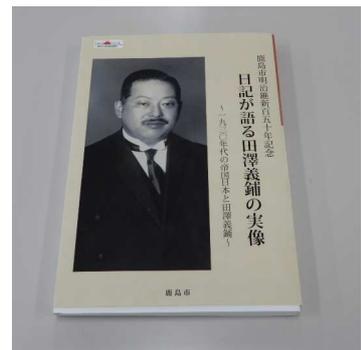
○鍋島直彬調査報告書



○田澤義鋪顕彰事業(演劇)



○田澤義鋪顕彰事業記念冊子



○田澤義鋪調査報告書

○主要施策

- ・明治維新时期やその後の明治時代等の調査研究と地域歴史の掘り起こし
- ・鹿島市の明治維新时期の偉業や偉人の顕彰

○成果

明治維新期の鹿島市の歴史に新たに光を当てることで、鹿島市民の歴史に対する意識の向上が図られた。

事業名	「囲碁サミット2018in鹿島」事業			所管課	教育委員会 生涯学習課 社会教育・文化係		
				費目	生涯学習推進費		
事業費 (千円)	2,217	財源	国	市債(借入金)	その他	一般財源	
				1,941		276	

事業内容	<p>「囲碁サミット2018in鹿島」 2,217千円</p> <p>○主催 「囲碁サミット 2018in 鹿島」実行委員会・鹿島市・鹿島市教育委員会</p> <p>○開催期日 平成30年11月22日(木)～23日(金)</p> <p>○事業内容</p> <p>◎11月22日(木)</p> <p>「囲碁サミット2018in鹿島」 エイブルホール 13:00～17:00</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基調講演「こどもの命をつなぐ囲碁」 原安喜子(IGOコミュニケーションズ 理事) 重野由紀(日本棋院 常務理事) ・サミット参加市町の取り組み紹介 ・パネルディスカッション テーマ「囲碁による子どもの育成」 コーディネーター 重野由紀(日本棋院 常務理事) パネラー 原安喜子(IGOコミュニケーションズ 理事) 金 賢貞(日本棋院棋士 四段) 江藤 茂(熊本子ども囲碁普及会 理事) 藤永 勝之(日本棋院 鹿島支部長) <p>助言者 團 宏明(日本棋院 理事長) 平野 則一(日本棋院 常務理事)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・囲碁サミット交流会 18:00～ 割烹清川 <p>◎11月23日(金・祝) 祐徳神社参集殿 9:30～12:00</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寛蓮子ども囲碁教室・プロ棋士による指導碁 <p>○主要施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基調講演・参加自治体の取り組み紹介・パネルディスカッション・サミット交流会・指導碁・囲碁教室棟の実施 <p>○成果</p> <p>全国から、囲碁文化振興事業に取り組んでいる自治体のうち14市町の首長や、囲碁愛好者が集い、囲碁文化を通して交流の輪を広げ、自治体連携を図るとともに、次世代を担う子どもたちへの囲碁普及を推進するなど、我が国の囲碁文化の継承と発展に寄与できた。</p>			 <p>○宣伝ポスター</p>
	 <p>○基調講演</p>  <p>○パネルディスカッション</p>  <p>○指導碁</p>			

○社会教育費の主な事業(続き)

平成30年度 鹿島市決算(資料)

事業名	男女共同参画社会づくり事業			所管課	教育委員会 生涯学習課 社会教育・文化係																														
				費目	社会教育総務費																														
事業費 (千円)	200	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源																												
							200																												
事業内容	<p>○鹿島市みんなの集い補助金 200千円 男女共同参画社会づくりに向けての研修や各団体の活動成果の発表を行った。</p> <p>○主要施策 家庭生活における男女平等意識の高揚</p> <p>○成果 各構成団体の活動内容を報告してお互いに再認識し、「男女共同参画社会づくり」の意識づけや成果の発表をすることができた。</p>																																		
	 <p>○ステージ発表</p>	 <p>○記念講演(中島玲子氏)</p>																																	
事業名	公民館指定管理事業			所管課	教育委員会 生涯学習課 社会教育・文化係																														
				費目	公民館費																														
事業費 (千円)	58,521	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源																												
							58,521																												
事業内容	<p>平成20年度から地区公民館に指定管理制度を導入し、相互の連携を図るため「鹿島市公民館連絡協議会」を随時開催し、公民館事業・経理業務等についての連絡調整を図った。</p> <p>○地区公民館指定管理委託 (58,521千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>公民館名</th> <th>委託料(千円)</th> <th>委託団体名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>鹿島公民館</td> <td>7,570</td> <td>鹿島公民館運営協議会</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>能古見公民館・のごみふれあい楽習館</td> <td>13,324</td> <td>能古見地区振興会</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>古枝公民館・林業センター</td> <td>9,105</td> <td>古枝地区振興会</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>浜公民館・臥竜ヶ岡体育館</td> <td>9,840</td> <td>浜町振興会</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>北鹿島公民館</td> <td>9,048</td> <td>北鹿島振興協議会</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>七浦公民館・漁村センター</td> <td>9,634</td> <td>七浦地区振興会</td> </tr> </tbody> </table> <p>○主要施策 ・地域コミュニティ活動の活性化、市民主体の組織活動の支援 ・地域と密着した活動の推進</p> <p>○成果 地区公民館の主体的な事業活動の支援、指導、助言を行い、地域の文化・特色に即した公民館運営を行った。 平成30年度は、指定管理3期目の初年度となったが、順調な公民館運営を行うことができた。</p>							No.	公民館名	委託料(千円)	委託団体名	1	鹿島公民館	7,570	鹿島公民館運営協議会	2	能古見公民館・のごみふれあい楽習館	13,324	能古見地区振興会	3	古枝公民館・林業センター	9,105	古枝地区振興会	4	浜公民館・臥竜ヶ岡体育館	9,840	浜町振興会	5	北鹿島公民館	9,048	北鹿島振興協議会	6	七浦公民館・漁村センター	9,634	七浦地区振興会
	No.	公民館名	委託料(千円)	委託団体名																															
1	鹿島公民館	7,570	鹿島公民館運営協議会																																
2	能古見公民館・のごみふれあい楽習館	13,324	能古見地区振興会																																
3	古枝公民館・林業センター	9,105	古枝地区振興会																																
4	浜公民館・臥竜ヶ岡体育館	9,840	浜町振興会																																
5	北鹿島公民館	9,048	北鹿島振興協議会																																
6	七浦公民館・漁村センター	9,634	七浦地区振興会																																

事業名	地区公民館管理事業			所管課	教育委員会 生涯学習課 社会教育・文化係		
				費目	公民館費		
事業費 (千円)	4,275	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
						1,067	3,208
事業内容	○地区住民が多く集まる地区公民館において、安全に安心して地域コミュニティ活動ができるよう公民館施設、設備等の修繕、改修工事並びに備品等の購入を行った。						
	費目		金額(千円)	内容			
	修繕料		1,488	七浦公民館男子トイレ修繕工事 ほか			
	工事請負費		252	のごみふれあい楽習館テニスブロック塀撤去工事			
	業務委託		739	北鹿島公民館外壁修繕工事実施設計業務 ほか			
	その他		1,796	消耗品費、旅費、保険料、負担金 ほか			
	合計		4,275				
	○主要施策 ・地域コミュニティ活動の活性化、市民主体の組織活動の支援						
	○成果 地域住民が安全安心に利用できるよう施設改修、施設維持ができた。						
							
							
			○ 能古見公民館消火水槽液面警報盤取替				
			○ 七浦公民館男子トイレ修繕工事				

事業名	生涯学習センター管理事業			所管課	教育委員会 生涯学習課 社会教育・文化係		
				費目	生涯学習推進費		
事業費 (千円)	90,013	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
						110	89,903

平成21年度から生涯学習センターに指定管理者制度を導入し、生涯学習事業の企画運営と施設管理を委託し、事業の強化と利活用の推進を図った。また、開館から17年を経過し設備の改修や、動作不良となった備品等の更新を行った。

○生涯学習推進費

目	決算額(千円)
生涯学習センター指定管理委託料	88,983
需用費(修繕料)	965
その他	65
合計	90,013

○平成30年度生涯学習センター利用状況

施設名	利用者(人)	月あたり(人)
ホール	22,342	1,861
研修室	13,536	1,128
その他	27,529	2,294
合計	63,407	5,283

- ・えいぶる事業(10公演) 入場者数 延べ4,121人
- ・床の間コーナー展示事業(4回)
- ・えいぶる講座 37講座(30種類) 受講者数 延べ1,656人

○主要施策

- ・市民主体・主導による生涯学習の展開
- ・社会教育や生涯学習の機会づくり・プログラムの提供
- ・文化祭・エイブル祭など発表や交流の場づくりへの支援
- ・生涯学習の情報ネットワークづくり
- ・情報の提供や学習や活動の機会づくり
- ・地域の学校、大学や法人、各種団体との連携による生涯学習の推進と文化振興



○えいぶるアウトリーチ事業
「長崎 OMURA 室内合奏団アンサンブルコンサート」

○成果

- ・えいぶる講座やえいぶる事業は、参加者による提案や企画を取り入れ、「市民立」にふさわしい事業を行うことができた。
- ・えいぶる事業では、市内小学校向けのアウトリーチ事業「長崎OMURA室内合奏団」によるスクールコンサートを助成事業として行った。アウトリーチは6年目となり今後も継続実施をしていく予定。
- ・えいぶる講座では、肥前佐賀幕末維新博に関連した講座として、佐賀県政出前講座を実施し、県内の世界遺産としての価値を学べいい機会を作ることができた。
- ・鹿島市能古見で生まれたと伝えられている水墨画家雲谷等顔の没後400年にあたり、佐賀県立博物館・美術館の協力のもと、雲谷等顔筆とされる山水図屏風を展示した。また、山口県立美術館の雲谷等顔の回顧展のバスツアーを初めて企画し、好評であった。
- ・施設面では、防災拠点として安全安心に利用できるよう設備の不具合を点検し、修理や更新を行った。



○えいぶる講座
佐賀県政出前講座 郷土の誇りを未来へ!
～世界遺産「三重津海軍所跡」と幕末維新期の佐賀

事業内容

事業名	市民図書館事業			所管課	教育委員会 生涯学習課 社会教育・文化係		
				費目	図書館費		
事業費 (千円)	69,948	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
						700	69,248

平成21年度から図書館事業に指定管理者制度を導入し、より専門的なスタッフの配置と知識の習得により、多様化・高度化した市民ニーズに対応できる図書館作りに努めた。なお、入館者数に関しては、依然減少傾向にあるため、入館者の増加を図るべく、企画事業や広報はもちろん、遠隔地サービスの拡充にも努めた。

○図書館費

項目	決算額(千円)
図書館指定管理委託料	69,163
報酬	85
図書資料、備品購入費	700
合計	69,948

○平成30年度市民図書館利用状況

項目	総数	1日平均
入館者数	113,218	387
貸出人数	55,398	189
貸出冊数	251,911	862
開館日数		292日

- ・おはなし会、イベント開催、施設見学受入、学校支援サービス等による子どもの読書推進と利用促進
- ・遠隔地サービスとしての「みにみに図書館」による配送貸出(幼・保・小中学校、企業、公民館等)
- ・図書館システムと連携したインターネットサービスの充実(WEB予約・延長手続・利用状況確認等)及び、各イベント会場等での利用登録・貸出を開始
- ・他機関との共催事業の実施やボランティアの活用等、地域との連携

○主要施策

- ・市民主体・主導による生涯学習の展開
- ・社会教育や生涯学習の機会づくり・プログラムの提供
- ・「おはなし会」「ぶっくすくすく」など図書館企画の充実
- ・子どもの読書活動推進、アウトリーチ活動の拡充
- ・市民向け巡回図書「みにみに図書館」の充実
- ・図書館資料の充実と提供、レファレンス(相談業務)の充実
- ・学芸部事業の充実



○おはなし会

○成果

- ・巡回図書「みにみに図書館」の実施(幼・保・小中学校・企業等 30ヶ所)
- ・高齢者施設、遠隔地小学校等へ出張おはなし会実施
- ・市役所への出張貸出(月2回)、ぶっくすくすくの際の図書館外貸出実施
- ・図書館100周年事業の実施
- ・ふるさと納税や寄附金により図書資料・備品を購入
- ・蔵書点検及び資料除籍による資料の適切な管理を実施
- ・レファレンス(相談業務)の強化 ※国立国会図書館より礼状
- ・鹿島明治維新150年記念事業の受託及び実施



○明治維新150年・図書館100周年事業

事業内容

事業名	社会同和教育事業			所管課	教育委員会生涯学習課社会教育文化係		
				費目	社会同和教育費		
事業費 (千円)	3,561	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
				1,095			2,466
事業内容	<p>○社会同和教育啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒への人権に関する作文・標語・ポスターの募集と表彰 応募総数4,125点 (作文:1,224点、標語:2,241点、ポスター:680点) ・人権学習会の開催 7回:469人 ・人権・同和问题地区別懇談会の開催 七浦地区 1回:21人 古枝地区 1回:30人 浜地区 1回:18人 ・市報に人権コラム「ひろげよう人権の輪」を毎月掲載 ・文化教養講座の開催 教育集会所 :書道教室(24回:のべ268人) 同和教育集会所:ペン習字教室(24回:のべ247人) 生花教室(12回:のべ109人) <p>○主要施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権啓発活動の推進 ・学校及び社会同和教育の推進 <p>○成果</p> <p>学校・地域等における人権作品の取組みや学習会、研修会、懇談会の実施により、人権・同和问题に対する正しい理解と認識を深めてもらうことができた。</p> <p>【人権ポスター】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>○特選(中学生)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>○特選(小学生)</p> </div> </div> <p>【人権標語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特選(小学生…低学年) 「おはようは たのしくすごす だいいっぽ」 ・特選(小学生…上学年) 「もうやめて いやな言葉は ゴミ箱へ」 ・特選(中学生) 「捨ててみて 人を比べる 物さしは」 						

事業名	文化財保護対策事業			所管課	教育委員会 生涯学習課 社会教育・文化係		
				費目	文化財保護対策費		
事業費 (千円)	1,342	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
							1,342

- 県指定重要文化財「赤門及び大手門修理検討委員会及びワーキンググループ会議の開催」 141 千円
大手門の耐震基礎診断の結果について協議を行った。
- 旭ヶ岡公園「鹿島城赤門野外博物館」説明看板更新工事 172 千円
旭ヶ岡公園内の老朽化した「鹿島城赤門野外博物館」の説明看板 12 枚を更新した。



○案内看板

○説明看板

- 市内埋蔵文化財試掘・確認調査(13 件) 632 千円
市内の各種開発行為に先立ち、埋蔵文化財保護のための事前調査を実施した。

- 文化財保護対策 397 千円
 - ・文化財保護審議会(1 回)
 - ・文化財管理補助(7件)
 - ・文化財防火デー(北鹿島小学校・常広城跡)
 - ・施設維持・各種負担金・旅費・その他

○主要施策

- ・文化的資産の調査と鹿島市にとって重要な文化財の指定
- ・文化財や埋蔵文化財の保護
- ・地域の民俗芸能や祭礼行事、伝統工芸などの保存継承の支援
- ・鹿島が誇る伝統文化の内外への発信
- ・郷土の歴史文化を学び親しむ機会の提供
- ・文化財の収集・保存と活用に向けた、施設の整備と設備の拡充

○成果

鹿島城大手門の修理については、耐震基礎診断が完了し、修理事業を進めるための事前の調査が概ね完了した。今後調査結果に基づき、基本設計の業務を行なう予定。また文化財案内看板の設置など市指定等の文化財保護や活用に向けた取り組みの強化を行った。埋蔵文化財については円滑に開発と文化財保護の調整を行うことができた。

事業内容

10款. 教育費 (5項) 保健体育費

保健体育振興事業としては、総合型地域スポーツクラブ「スポーツライフ・鹿島」(会員数671人)で体験教室の実施及びクラブ員交流事業により会員発掘や活動内容の周知を図った。各種スポーツ事業では、今年度から始まった健康チャレンジ事業(健診やスポーツ教室参加等へのポイント付与)、市民体育大会や壮年ナイターソフトボール大会等を実施し、健康づくりの一環としてスポーツ機会の提供と交流を推進した。また、スポーツ合宿においては、青山学院大学陸上競技部など8団体の合宿を受入れた。体育施設管理事業としては、蟻尾山公園クロスカントリーコース改修や市民体育館のLED照明化などを実施した。

○保健体育費の主な事業

平成30年度 鹿島市決算(資料)

事業名	スポーツ推進事業		所管課	教育委員会 生涯学習課 スポーツ係			
			費目	保健体育総務費			
事業費 (千円)	10,135	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
						487	9,648

スポーツ合宿誘致事業では、関東学連の大学など8団体が合宿を行った。合宿時の交流事業では、園児や小学生を対象とした交流会や一般の方まで対象としたスポーツ教室を実施し、全国区で活躍する選手を間近に見ることで学生ともより一般の方がスポーツへの関心を深め、将来に向けた夢や目標を持つ機会の創出ができた。

また、市民がスポーツを通して健康増進が図られるように、健康チャレンジ事業や総合型地域スポーツクラブを推進し、気軽にスポーツを楽しめる機会と場所の提供を行った。

県民体育大会では、本市にて開会式が行われたほか前年度順位から4つ上げ躍進賞を授与された。

○事業内訳

No.	事業名	事業費(千円)	事業概要
1	スポーツ推進委員育成事業 (スポーツ推進審議会含む)	2,046	・スポーツ推進委員によるスポーツの振興、指導 ・総合型地域スポーツクラブによる「四季めぐりウォーキング」などの実施
2	各種スポーツ推進事業	8,076	・スポーツ合宿誘致事業の実施(8団体) ・壮年ナイターソフトボール大会の実施 ・県民体育大会、市民体育大会実施の協力
3	保健体育推進事業	13	・体育施設協会負担金ほか

事業内容



○四季めぐりウォーキング



○壮年ナイターソフトボール大会

【H30年度スポーツ合宿実績：8団体】

- | | | | |
|--------------|-----|--------------|-----|
| ・青山学院大学陸上競技部 | 11人 | ・ひらまつ病院陸上部 | 22人 |
| ・東京国際大学駅伝部 | 19人 | ・明治大学競走部 | 43人 |
| ・順天堂大学陸上競技部 | 32人 | ・大東文化大学陸上競技部 | 17人 |
| ・東洋大学陸上競技部 | 20人 | ・日本大学陸上競技部 | 16人 |

<p>○主要施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ指導者の充実と活用 ・スポーツの生活化及び、子供から高齢者までの総合型地域スポーツクラブ(子どもの居場所づくりを含む)を中心とした生涯スポーツの推進 ・スポーツクラブの育成強化と各種目団体における競技力の向上 ・スポーツ合宿の推進 <p>○成 果</p> <p>市民に広くスポーツへの関心を与えるとともに、多様な交流機会増大による青少年健全育成並びに地域の活性化を図るために、スポーツ合宿の誘致活動を展開し、箱根駅伝で有名な大学など8団体の誘致が実現した。</p> <p>一般の方までを対象とした一流選手による陸上・スポーツ教室は非常に評判が良く、また、園児や小学生との交流会は異世代間の交流となり、大変有意義な交流ができたほか2023年佐賀国体に向け、アーチェリー教室を開催した。</p>						
事業名	市立学校体育施設開放事業		所管課	教育委員会 生涯学習課 スポーツ係		
			費目	保健体育総務費		
事業費 (千円)	430	財源	国	県	市債(借入金)	その他
						430
事業内容	<p>市内の9小・中学校の体育館を市民に対し夜間開放を実施し、スポーツの推進と体育施設の有効利活用を図った。</p> <p>○主要施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設の維持管理と効率的活用及び学校体育施設の有効利活用 <p>○成 果</p> <p>市内7小学校と2中学校の体育館については、一般向けに夜間開放を行いスポーツ実施機会の提供を図った。</p>					

事業名	スポーツ組織等の強化育成事業		所管課	教育委員会 生涯学習課 スポーツ係																
			費目	保健体育総務費																
事業費 (千円)	2,678	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源													
						383	2,295													
<p>スポーツの普及振興、スポーツ少年団等の育成及び各種競技の技術向上を図るために、大会の開催協力や支援事業を実施した体育協会へ補助を行った。</p> <p>また、県代表として全国大会、九州大会へ出場した小中学生(個人、団体)に対し、補助金を交付した。</p> <p>○事業内訳</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>事業名</th> <th>事業費</th> <th>事業概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>体育協会補助金等</td> <td>2,320</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・体育協会事業補助金 950千円 ・県民体育大会業務委託(強化費含む) 1,270千円 ・スポーツ振興事業交付金(指定寄附金) 100千円 </td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>全国大会、九州大会出場補助金</td> <td>373</td> <td>47件</td> </tr> </tbody> </table> <p>【体育協会事業】(公認第68回鹿島祐徳ロードレースの様子)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>○祐徳ロードレース(招待選手を励ます会)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>○祐徳ロードレース(ハーフスタート)</p> </div> </div> <p>○主要施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツクラブの育成強化と各種目団体における競技力の向上 <p>○成果</p> <p>市体育協会と共催で祐徳ロードレース等を開催し、市民の健康づくりや親睦と融和と市民間の仲間づくりに併せ、競技力向上やスポーツ活動人口の拡大に努めた。なお、大会には招待選手として関東学連の強豪大学の選手が参加し、大変盛り上がった。</p>									No.	事業名	事業費	事業概要	1	体育協会補助金等	2,320	<ul style="list-style-type: none"> ・体育協会事業補助金 950千円 ・県民体育大会業務委託(強化費含む) 1,270千円 ・スポーツ振興事業交付金(指定寄附金) 100千円 	2	全国大会、九州大会出場補助金	373	47件
No.	事業名	事業費	事業概要																	
1	体育協会補助金等	2,320	<ul style="list-style-type: none"> ・体育協会事業補助金 950千円 ・県民体育大会業務委託(強化費含む) 1,270千円 ・スポーツ振興事業交付金(指定寄附金) 100千円 																	
2	全国大会、九州大会出場補助金	373	47件																	

事業内容

事業名	体育施設管理事業		所管課	教育委員会 生涯学習課 スポーツ係				
			費目	体育施設管理費				
事業費 (千円)	100,747	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源	
						23,128	77,619	
事業内容	市民にスポーツができる場所を提供し、市民が安全にスポーツを楽しめるように、施設の維持管理、修繕等に努め、市内体育施設においては、市民体育館のLED照明化・女子トイレ改修、北鹿島体育館のバレー用床金具取替、蟻尾山公園のクロスカントリーコース改修工事やグラウンドゴルフ場排水対策工事等を実施した。 ○事業内訳							
	No.	事業名	事業費	事業概要				
	1	体育館及び広場管理事業	20,338	・各体育施設管理等業務委託	2,877	千円		
				・市民体育館電気設備改修工事	4,298	千円		
				・北鹿島体育館バレー用床金具取替	3,564	千円		
				・市民体育館女子トイレ改修ほか工事	3,866	千円		
				・修繕料、光熱水費ほか	5,733	千円		
	2	七浦海浜スポーツ公園管理事業	5,557	・施設管理等業務委託	2,588	千円		
			・光熱水費、保険料ほか	2,969	千円			
3	北公園テニスコート施設管理事業	7,441	・施設管理等業務委託	4,946	千円			
			・光熱水費、通信運搬費ほか	2,495	千円			
4	体育施設管理作業事業	2,851	・作業員賃金ほか					
5	林業体育館管理事業	933	・施設管理等業務委託	559	千円			
			・光熱水費、通信運搬費ほか	374	千円			
6	蟻尾山公園管理事業	63,627	・指定管理委託	51,535	千円			
			・クロカンコース改修工事ほか	9,308	千円			
			・管理用車両購入費ほか	2,784	千円			
								
	○クロスカントリーコース改修		○市民体育館LED照明化					
	○主要施策 ・スポーツ施設の維持管理と効率的活用及び学校体育施設の有効利活用							
	○成果 市内体育施設の改修や修繕を計画的、また迅速に実施することで、利用者が安心安全で快適に利用できるように努めた。							

事業名	学校給食運営事業			所管課	教育委員会教育総務課 学校給食センター		
				費目	学校給食費		
事業費 (千円)	120,967	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
			2,563		2,200	900	115,304

○事業内容 学校給食には、児童生徒の心身の健やかな発達を支えるため、安全・安心でおいしい給食を提供することが求められており、共同調理場方式で小中学校 199 日給食を実施した。

小学校	8校(うち分校1校)	1,616食
中学校	2校	769食
その他(学校職員ほか)		245食
計		2,630食

米飯給食においては、平成18年11月から鹿島産の米を100%使用している。

平成23年度から小学校、平成24年度からは中学校の新学習指導要領に食育の推進が明記されており、栄養士を中心として食育授業や給食訪問により食育の推進と指導に取り組んだ。

平成26年度から調理・配送部門を民間委託に移行し、安全・安心でおいしい給食の安定供給を前提とし、事業の効率化を図るようにした。なお、献立の作成、給食物資の調達・検査業務、調理の指示についてはこれまでどおり市で対応している。

施設面では調理場内手洗場の給水栓を自動式の温水対応に変更するため、手洗自動水栓設置及び給湯設備工事を行い設備の改善に努めた。

平成30年度は食物アレルギー対象者（H27:27人、H28:38人、H29:44人、H30:51人）が年々増加傾向にあることと、アレルギーの対象品目も甲殻類、魚、肉、ゴマなど34品目と増え既存の調理場内でのアレルギー対応除去食を作ることが困難となった。以上の理由により学校給食の安全性の確保や事故防止の徹底を図るため食物アレルギー対策室増築工事を行った。

事業費	・食物アレルギー対策室増築工事	11,610千円	
	・食物アレルギー対策室備品	1,560千円	合計13,170千円

○主要施策

- ・豊かでバランスのとれた学校給食や食育を含めた健康教育と体力づくりの一層の充実に努める。
- ・学校給食における地産地消の推進と施設設備の維持、改善を行う。

○成果

新鮮な旬の食材を多く取り入れ、行事食や各学校のアンコール給食等によりおいしい給食を提供し、食への関心が高められた。

また、栄養士を中心とした食育授業・指導等により、子どもたちが自らの食生活を振り返り、食に関する知識を深め、正しい食事の摂り方や望ましい食習慣の形成が図られた。



○食物アレルギー対策室



○センター見学